

病気やケガへの対応

援助活動中に、預かっている子どもが急に熱を出したり、ケガをするなどの異常が認められた時は、まかせて会員は落ち着いてまず次の行動をとりましょう。

① おねがい会員に連絡する



子どもの様子や状況をできるだけ詳しく説明してください。落ち着いて、順序良く伝えましょう。



② おねがい会員の指示を受ける



急を要する場合でなければ、まずおねがい会員と相談し、対応しましょう。おねがい会員は、必要な指示をわかりやすく伝えてください。まかせて会員の独自の判断で、投薬や医療機関の受診はしないでください。

③ 急を要するケガや病気の場合は 119番へ通報（P17参照）



救急車が来るまでの手当の方法を聞き、それに従ってください。医療機関へ連れて行く際は、必ず『事前打ち合わせ票』を持参してください。



④ センターに連絡する

保険の手続きが必要になる場合もありますので、病気やケガへの対応が済み次第、センターに報告してください。

※場合によっては、119番への通報が先になることもあります。状況により、冷静に判断しましょう。

いざ!という時のために

1) 子どもの体調不良などの場合の緊急連絡先

■ おねがい会員の緊急連絡先を確認しておきましょう。

2) 事故・事件などの場合の緊急連絡先

■ 平日9時～17時

…… ファミリー・サポート・センター ☎ 053-457-2900

■ 平日上記の時間帯以外、土日祝日、12月29日～翌年1月3日

…… 浜松市役所守衛室 ☎ 053-457-2066

参考資料 ③

病気やケガが重篤な場合：119

まず、おねがい会員に連絡して、指示を仰ぎます。(手引きP16参照)
急を要する病気やケガの場合には救急車を呼びましょう。

◎救急車の出動を要請

1、「救急です」

2、住所・氏名・電話番号・目標になる物(建物等)

3、子どもの状況(性別、年齢、いつ、どこで、どういうふうに、どうなった)を伝えます。

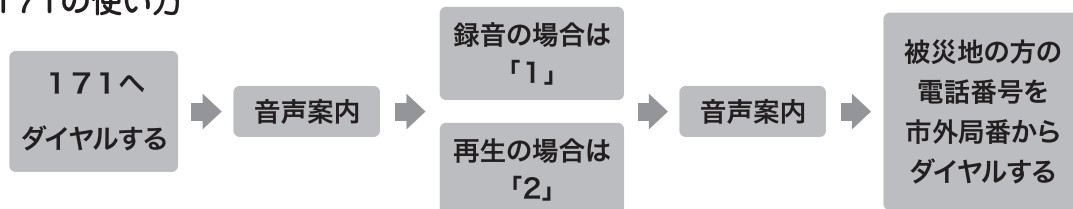
指示に従い、救急車の到着を待ちます。

- ・救急車を停車させる場所に、救急隊員を案内してくれる人がいるとより迅速です。
- ・救急車が到着するまでには時間がかかります。いざという時のために、講習会等で正しい応急手当法を身につけておきましょう。

参考資料 ④

大地震や大規模災害の場合:171 (NTT災害用伝言ダイヤル)、携帯電話災害用伝言板

◎171の使い方



※利用方法はNTTのハローページやタウンページ巻頭部分に説明があります。確認してください。
※電話は固定電話の番号しか使えません。

◎携帯電話災害用伝言板について

大地震や大規模な自然災害の時に開設される伝言板サービスです。加入者の携帯電話会社に安否情報を登録すればインターネットなどを通じて全国から確認できます。詳細は各社にお問い合わせください。

～どちらも体験利用ができます～

体験利用日：毎月1日・15日、正月三が日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)

	まかせて会員	おねがい会員
日頃から	・事前打ち合わせの際におねがい会員と避難場所・連絡方法を確認 ・家具の固定、家の中で一番安全な場所の確認 ・水や非常食、非常持ち出し袋の用意 ・避難場所と避難経路の確認 ・NTT伝言ダイヤル等、連絡方法の練習	・事前打ち合わせの際にまかせて会員と避難場所・連絡方法を確認 (災害時の引き取りについて家族で話し合っておきましょう) ・帰宅困難になることも考えられるので、帰宅マップを作成 ・避難場所への道順を確認 ・NTT伝言ダイヤル等、連絡方法の練習
東海地震 注意情報・ 警戒宣言 が発令され たら	<サポート前> ・「サポート中止」を双方で確認 <サポート中> ・おねがい会員と連絡を取り、早急に子どもを保護者に引き渡す (第2・第3の連絡先もあらかじめ確認しておきましょう)	<サポート前> ・まかせて会員へ「サポート中止」の連絡を入れる <サポート中> ・まかせて会員と連絡を取り、早急に子どもを迎えに行く
災害発生時	<サポート前> ・「サポート中止」を双方で確認 <サポート中> ・子どもと自分の身を守り、避難(避難所へ避難する場合は、おねがい会員が迎えに行けるように行き先が分かる伝言メモを残しておきましょう。) ・おねがい会員(またはその家族)へ子どもの安否と居場所を連絡 ・預かっている子どもを確実に保護者に引き渡す	<サポート前> ・まかせて会員へ「サポート中止」の連絡を入れる <サポート中> ・自身の安全を確認しながら、避難場所へ子どもを迎えに行く

※どっちも会員は両方とも心得ておきましょう。